

感染症(ジカ熱・デング熱等)の運び屋

蚊にご注意!



【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症 など

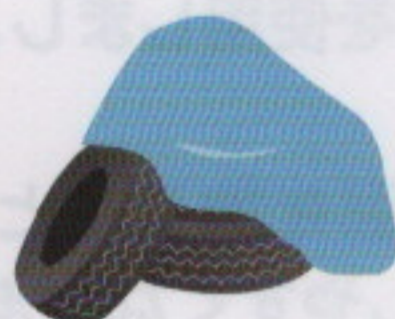
■ 蚊の発生を減らすために

定期的に幼虫が発生しそうな水たまりの除去・清掃をしましょう。
下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。

水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル



詰まった排水溝

下草刈り



風通しの悪いやぶ・草むら

出典：厚生労働省

■ 蚊に刺されないために!!

蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用しましょう。



出典：厚生労働省

なぜ対策が必要?

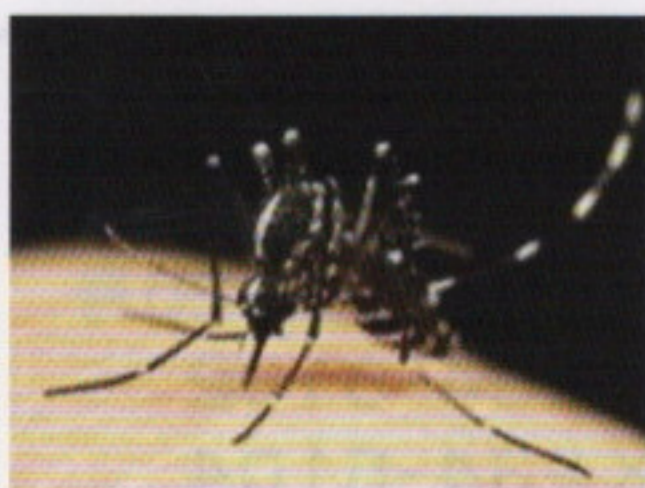
ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

ヒトスジシマカ

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林、竹林、藪、墓地、公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50m~100m程度です。



出典：国立感染症研究所

金沢市保健所 地域保健課

金沢市西念3丁目4番25号
TEL 234-5102
FAX 234-5104

感染症(日本紅斑熱・つつが虫病等)の運び屋



ダニにご注意!

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

【ダニが媒介する感染症】

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

ダニに咬まれないためのポイント



- ◆草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入るときは、肌の露出を少なくし、虫除け剤を使用しましょう。
- ◆明るい色の服を着ることで、マダニを目視で確認しやすくなります。
- ◆上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう。
- ◆屋外活動後はシャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。
※特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意

出典：国立感染症研究所

マダニとは？

- ◆マダニは、シカ、イノシシ、野ウサギなどの野生生物が出没する環境に多く生息しています。民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。
- ◆マダニの多くは、春から秋(3～11月)にかけて活動が活発になりますが、冬季に活動する種類もいます。



出典：厚生労働省

ダニに咬まれたときの対処法

- ◆無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置をしてもらいましょう。
- ◆マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

(受診時に医師に伝えること)

- ①野外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動



金沢市保健所 地域保健課

金沢市西念3丁目4番25号

TEL 234-5102

FAX 234-5104